

**醫治効能**  
婦人病、慢性りうま、水銀中毒、疥癬、頭痛、疝氣、風濕、揚梅瘡、癩、痔瘡、腸炎、打撲、挫折、切傷、胃病、皮膚病一切

**大藏省免許**  
**湯本株式會社**  
石城郡湯本町可成 電話四七番

**平看護婦會**  
電話三〇七番

**磐城之實業社** (平町可成)  
經營者 大和田與平

# 磐城之實業

發行所 磐城之實業社  
印刷所 磐城之實業社  
電話 五三三番  
定部金 八圓  
半年分 四十九圓  
全年分 九十七圓  
廣告料 一行五十圓  
印刷料 一行五十圓

**主義** 本紙の私利にあらざる、公共的言論機關也。常に紙面を開放して何人の爲にも、其利用を快諾し、特に主として實業界の機關となり、努めて實益を主眼とす。本紙は絶対不可侵の權威を以て、論議公正にして、愚劣無價値の記事を探らず、磐城地方唯一の信條、實業機關たるの本領を發揮す之本紙の使命也。

## 普選の前に

言論の結果は國民の冷静なる態度に俟つ。現下の政局は解散の可能性が愈々多量に含まれて、やうに思ふ解散の結果は待ちに待った普選が實施せられるのである。普選が實施せられる場合には、全國を挙げて旺々たる言論戦が行はれることであらう。思ふ從來のやうな情實や義理や金錢で行はれる選挙に比ぶれば、結構な點もあつたであらうが、立憲教育の缺けた現状にあつては、或は恐ろしい弊害を惹き起さないとも限らない。

## 人口對比數

本縣下の情況

全國を通じて、婦女五萬七千三百八十八人、男子五萬八千四百七十七人、合計一十一萬六千六百六十五人。本縣下の情況は、この全國の平均に比較して、人口の割合は、男は五割、女は四割五分、合計九割五分である。これは、全国的に比較すると、男の割合がやや多いといふことがわかる。

## 大人満員の大龍電氣劇

免れて祝福至極に存じ奉る

大龍電氣劇の大人満員は、祝賀の聲が絶えず聞かれる。この劇は、大衆の心を惹きつける内容であり、大人も子供も楽しめる。祝賀の聲が絶えず聞かれるのは、大衆の支持が厚いからである。

## 怪腕戦慄す名士の名譽振り

いふ云はれる平銀行として

怪腕戦慄す名士の名譽振り。この事件は、名士の名譽を揺るがすほどの重大なものである。平銀行として、いふ云はれる。この事件は、大衆の注目を集めており、名士の名譽を揺るがすほどの重大なものである。

## 妖雲はたなび

山が再度の平銀行

妖雲はたなび。山が再度の平銀行。この事件は、山が再度の平銀行として、いふ云はれる。妖雲はたなび、山が再度の平銀行。この事件は、大衆の注目を集めており、山が再度の平銀行として、いふ云はれる。

## 怪腕の極印

見上げたる

怪腕の極印。見上げたる。この事件は、怪腕の極印として、見上げたる。この事件は、大衆の注目を集めており、怪腕の極印として、見上げたる。

## 時評

現代青年の思想

時評。現代青年の思想。この時評は、現代青年の思想について、いふ云はれる。現代青年の思想、この時評は、大衆の注目を集めており、現代青年の思想について、いふ云はれる。

## 心柄は昔

鯛の頭も信

心柄は昔。鯛の頭も信。この事件は、心柄は昔として、鯛の頭も信。この事件は、大衆の注目を集めており、心柄は昔として、鯛の頭も信。

## 行の執務振り

抱きかけた

行の執務振り。抱きかけた。この事件は、行の執務振りとして、抱きかけた。この事件は、大衆の注目を集めており、行の執務振りとして、抱きかけた。

## 問題あるに尙

萬圓のややく

問題あるに尙。萬圓のややく。この事件は、問題あるに尙として、萬圓のややく。この事件は、大衆の注目を集めており、問題あるに尙として、萬圓のややく。

## 當世教育氣質

所調委員の選舉

當世教育氣質。所調委員の選舉。この事件は、當世教育氣質として、所調委員の選舉。この事件は、大衆の注目を集めており、當世教育氣質として、所調委員の選舉。

## 所調委員の選舉

石城郡に於て

所調委員の選舉。石城郡に於て。この事件は、所調委員の選舉として、石城郡に於て。この事件は、大衆の注目を集めており、所調委員の選舉として、石城郡に於て。

## 所調委員の選舉

石城郡に於て

所調委員の選舉。石城郡に於て。この事件は、所調委員の選舉として、石城郡に於て。この事件は、大衆の注目を集めており、所調委員の選舉として、石城郡に於て。

## 所調委員の選舉

石城郡に於て

所調委員の選舉。石城郡に於て。この事件は、所調委員の選舉として、石城郡に於て。この事件は、大衆の注目を集めており、所調委員の選舉として、石城郡に於て。

## 所調委員の選舉

石城郡に於て

所調委員の選舉。石城郡に於て。この事件は、所調委員の選舉として、石城郡に於て。この事件は、大衆の注目を集めており、所調委員の選舉として、石城郡に於て。

## 所調委員の選舉

石城郡に於て

所調委員の選舉。石城郡に於て。この事件は、所調委員の選舉として、石城郡に於て。この事件は、大衆の注目を集めており、所調委員の選舉として、石城郡に於て。

## 所調委員の選舉

石城郡に於て

所調委員の選舉。石城郡に於て。この事件は、所調委員の選舉として、石城郡に於て。この事件は、大衆の注目を集めており、所調委員の選舉として、石城郡に於て。

## 所調委員の選舉

石城郡に於て

所調委員の選舉。石城郡に於て。この事件は、所調委員の選舉として、石城郡に於て。この事件は、大衆の注目を集めており、所調委員の選舉として、石城郡に於て。



男を上げた  
漆畑木田氏

漆畑木田氏は、男を上げた。これは、男を上げたという事だ。

漆畑木田氏は、男を上げた。これは、男を上げたという事だ。

愛戦將軍  
小高拍手落籍の

小高拍手落籍の愛戦將軍。これは、愛戦將軍の事だ。

愈々燃に盛る不可解病院

更に存在の認められぬ磐城共済會  
病院の敷地建物全部は賀澤忠治個人の所有

三千の會員は是でも異存なきか

平區裁判所土地建物登記簿  
閱覽報告

石城郡平町字第十五丁目十三番地ノ一、宅地三百四十坪四合二勺  
是大正十三年十二月二十七日  
所有者 石城郡平町字南町四十四番  
地賀澤忠治

大正十四年十月十五日受付第四二〇  
大正十四年九月二十六日設定  
金二萬圓也

大正十六年一月迄据置同年二月一日  
より大正三十一年一月末日迄年賦償  
還

債権者 福島縣農工銀行

年賦償還金二千五百四十三圓四錢宛  
の抵當中同所同番地の二地内

一、木造瓦葺二階建住宅一棟  
建坪一百二十五坪二合五勺外二階坪  
一百十四坪七合五勺

是は大正十三年十二月二十七日保存  
せり

所有者 石城郡平町字南町四十四番  
地賀澤忠治

是に對し大正十四年十月十五日受付  
第四二四〇號同年九月二十六日設定  
金二萬圓也前の土地と同じ

大正十四年十月二十一日受付第四三  
八一號同月二十日抵當權設定  
金九千圓也

公債の理由此處  
に存するもの也

不正を行ふ者を平和の敵とし金力名智を惡用して弱者を虐ぐる者は罪惡なりとなして拒否し

事業の存在する筈なるに何ぞ知らん之を證明するもの磐城の天地に遺憾ながら發見し

能はざるのである此處に於て吾人は今や紛糾

しつゝある共済病院興廢の岐路に超然たる能はず公債は發して不正不義の徒の癭策振り

に照麗の筆硯を呵せんといふ此の惡辣奸行爲

を描写して自ら痛快を呼ぶものに非らず神聖高尚

なる科學として尊重すべき醫學が濟生司命の聖職

として尊重されべき三千の會員は粒々辛

苦の金を醵出して以て萬一病魔來襲に安心料金

として前納して其の經營をなさんといふ計りに

何事ぞ其存共済會と今か今まで思ひ居りし

磐城共済病院は其建物敷地全部を擧げて賀澤忠治

其の個人所有と誰か慨嘆に堪へざるものあら

んや、前記の裁判所登記簿は嚴正公平の

批判は既に賀澤の不正を指摘して余りあり彼れ

賀澤に借問すれば即ち會長なるか故に所

此の借金を  
如何にせん

大正十五年七月十日平橋車  
局の赤札第六六號が

に依つて見れば前記抵當權

設定以外の借金を十四年十

月二十三日端山正男よ

り六千圓十五年二月三日

端山治より三千圓同日端

山正男より再度借入金二千

圓四月十六日磐城建物

株式會社より一千三

百圓八月六日賀澤忠治よ

り會長としての賀澤忠治が

百圓六十七錢の借金を珍妙

不可思議である而して端山

治作者も去る二日辭任した

るを以て現在居る堂々た

らざるもの、如きも其他に

重役を無視  
因果關係を有する理事

理事の肩書を有するのふ念慮の厚きものあるやを

みて此の紛糾の消息さ知疑はざるを得ず

は、反對黨の政友會と握手し

たらし、聯合事務所も一所

ある、此處で借問したい

のは一体候補者にならば文

句なしに不平は申さぬもの

かど、然して候補者も

も、是れは、然して候補者も

も、是れは、然して候補者も

も、是れは、然して候補者も

も、是れは、然して候補者も

も、是れは、然して候補者も

も、是れは、然して候補者も

も、是れは、然して候補者も

も、是れは、然して候補者も

五十男の赤腕色魔

毒牙にかけた女は本妻が  
最後に馬出して呆房拂へ

偽造お札、高利貸、營利誘拐

お札の偽造

喰食の子

蛇

鬼の亭主に鬼人

蛙

蛇

鬼の亭主に鬼人

蛙

蛇

鬼の亭主に鬼人

蛙

蛇

鬼の亭主に鬼人

蛙

益々發展させたい方々

靈湯御案内
溪流あり、瀑布あり、山に倚り、谷に沿ふての風光絶佳絶

撰精料材
強勉大
所進調子菓御
町北字町名江郡城石

五色温泉
良品廉賣に勝る商略なし
磐城平町五丁目

釜屋商店
和洋銅鐵
諸橋久太郎

王子湯旅館
奥羽線庭坂より二里半
高湯 湯主 後藤寅治

信條
本紙の私利私欲を以て論議公正にして愚劣無價値の論議を採らざる磐城地方唯一の

磐城病院
(婦人科花柳病科) 東北醫學士 市原陸郎
(内科小兒科) 院 長 市原卯太郎

中山岩を大勉強に販賣
致します。
△建築用として△石垣用として

銘酒鶴仙 釀造元
松吉屋本店
石城郡平窪村

駒場四郎商店
御一報次第直ちに御用命御利用下さい

湯本株式會社
大蔵省免許
石城郡湯本町横町

共同的精神に基く相互扶助の金融
機關にして重寶なる湯本無盡を御

湯本株式會社
大蔵省免許
石城郡湯本町横町

は 著 の 想 理 的 生 衛 の し な 上 の こ
は は
場 工 し ば 都 町 の 原 郡 馬 相 所 賣 販 造 製

川瀨炭礦常礦業所
石城郡赤井村
平町三丁目

山神明理想の仙境!!!
宮城縣刈田郡小原村
館主 高橋長十郎

佐川洋服店營業部
平町三丁目(電四一八番)

佐川洋服本店
植田町本町通り

建築請負業
只野忠康
平町南町

仙臺市東一番丁(電話一五九五番)
草薙勝衛法律事務所

看護婦派出所の求めに應ず
平町南町
看護婦會

ぬる湯温泉
腦病、眼病に苦む人、産前後、神經痛
血の道一切に特功あり

清光堂分店
平町搔槌小路
電話三一五番

産婆 草野 ナツ
平町白銀町十一番地
平劇場前通の東隣り

地所埋立請負
平町南町一帯の地所埋立請負

合資工榮商會
瓦トメセ
獨逸型(全上)

瓦トメセ
獨逸型(全上)
大正洋瓦工業社

磐城之實業社(平町古)
經營者 大和田與平

本紙の私利私欲を以て論議公正にして愚劣無價値の論議を採らざる磐城地方唯一の
大入職員の大龍電氣